

新潟市教職員の資質向上に関する指標〔校園長〕

新潟市教育委員会（令和5年4月）

	項目	求める姿		
B 組織 マネジ メント 力	ア 学校運営	【1 教育課題の把握・学校経営方針の設定】 ① 教育活動に関わる様々なデータや自らの学校の強み・弱み、学校を取り巻く課題などについて、情報を収集、整理・分析をして教職員間や学校運営協議会等で共有する。 ② 学校の取り組むべき課題を明らかにし、学校経営方針及び目標達成のための効果的な手段を適切に設定する。	【2 組織的な運営体制づくり】 ① 学校の目指す目標を浸透させて意識の共有を図り、達成に向けて教職員一人一人を支援し、リードする。 ② 多様な背景、経験、専門性を有する全ての教職員がそれぞれの強みや適正等を生かして学校運営に参加する体制をつくる。 ③ 課題解決に向けて、関係機関と連携して職員間の調整をし、支援チームを組織・運営する。 ④ 家庭・地域との協働体制を構築し、学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する。	【3 家庭・地域・関係機関等との連携】 ① 学校経営方針を実現するために、学校を取り巻く資源を効果的に活用する。 ② 重要な事案について、関係者や関係機関等と交渉を行い、理解・協力を得る。
	イ 学校教育の管理	【1 教育課程の編成・管理】 ① カリキュラム・マネジメントの視点をもって、社会に開かれた教育課程を編成して管理する。 ② インクルーシブ教育システム構築にむけて、特別支援教育を推進する。	【2 財務管理】 ① 効果的な教育活動を展開するための、予算執行・文書管理・施設管理を適正に行う。 ② 事務職員との日常的な連携に取り組み、情報共有に努める。	【3 学校安全・危機管理】 ① 子どもの安全確保を最優先とし、教育活動における学校安全についての重要性を全教職員に意識させる。 ② 問題発生の防止に努め、事故発生時には状況を的確に把握・分析し、迅速かつ適切に対応する。 ③ 計画やマニュアルの等の作成と見直しを適切に行う。
	ウ 教職員の管理・育成	【1 勤務環境の管理・業務改善】 ① 教職員の勤務状況を踏まえ、業務の効率化・最適化に向けた校内体制を構築する。 ② ICT機器等を活用して業務の効率化を図り、教職員の多忙化解消を図る。	【2 教職員理解・人材育成】 ① 全教職員の適性や能力を把握して、適宜、配慮ある指導・助言を行い、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進するよう働き掛ける。 ② 教職員の能力を向上させるための研修の機会、仕組みをつくり、学び続ける教職員を育成する。	
C 人間 力	ア 使命感・熱意	・自らが研究と修養に励むとともに、教職員に研修の機会を与えるなど一人一人の持ち味を生かすよう支援する。		
	イ コンプライアンス	・教職員が法令及び条例を遵守するよう、具体的な事例を通して指導する。		
	ウ 社会認識・識見・礼儀	・社会人として模範となる行動をとるとともに、様々な場面を通して教職員がTPOに応じた行動ができるよう指導する。		
	エ コミュニケーション	・教職員、保護者、地域の人等への他者理解に努め、相互の良好な関係を基に教育を遂行する。		
	オ セルフマネジメント	・業務の結果を常にフィードバックしながら、目標達成に向けて心身の健康やモチベーションを維持して仕事に取り組む。		
	カ 対応力・創造力	・課題意識を持ち、学校経営について新しい発想で改善や提案を行い、教職員をリードする。		

※ 校園長指標は、教頭、主幹教諭も参照